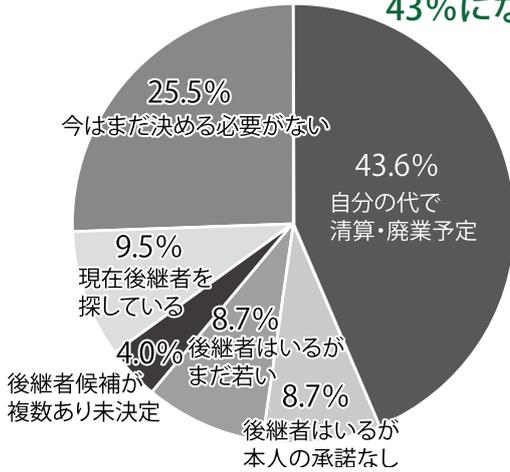


自分の代で清算・廃業予定が 43%になります



2017 事業承継に関するアンケート結果から

アンケート結果では事業承継に関する相談先について、誰にも相談していないという事業者が多かったです。事業承継の問題はプライベートな部分に関係してくるため周囲に知られたくないという気持ちが働き、円滑な事業承継を妨げる要因のひとつ

「他にも見えてきたことがありますか」

「他に承諾を得ていない、も含みます。さらに、経営者の高齢化という要因もあり、自分の代で廃業を予定していると回答する事業者が全体の3割にも及んでいます。想定以上に厳しい結果となっています。」

「事業の引き継ぎにはどのような取り組みが必要ですか」

事業を後継者に円滑に承継するためには、経営状況や経営課題、経営資源見える化し、現状を正確に把握することから始まります。

把握した自社の経営状況・経営課題等をもとに、今後の方向性・長期的な目標を設定することが重要です。そして、設定した目標を踏まえ、資産・経営の承継の時期を盛り込んだ「事業承継計画」の策定に取り組むことが必要です。

「SSYとしてどのような支援を考えていますか」

後継者難による休廃業を防止、今ある企業を存続させることを地域にとっての喫緊の課題として取り組みます。SSYは地域の産業支援団体として、島根県・島根県事業引継ぎ支援センター等関係機関と連携を密にとり、企業の状況把握や職員の

スキルアップ、ノウハウの共有を図っていききたいです。

「相談体制は」

SSYでは、サポートアドバイザー（専門家）派遣事業のうち、事業承継に関わる案件は、回数の上限を増やしています。1案件に3回までの助成制度を設けています。（1回につき上限3万円および派遣旅費）

また、県のアドバイザー制度でも上限回数を増やし、5回まで利用できるようになっていきます。

【相談窓口】

- ▼産業サポートネットやすぎ（商工観光課内） ☎ 23-3105
- ▼安来商工会議所 ☎ 22-2380
- ▼安来市商工会 ☎ 32-2155
- ▼島根県事業引継ぎ支援センター（松江市母衣町 55-4） ☎ 0852-33-7501

SSYでは、重要課題として取り組んでいますのでお気軽に相談ください。



インバウンド市場調査 空港でイチゴを販売

産業サポートネットやすぎでは、特産品「やすぎいちご」が外国人旅行者にどのような評価を受けるのかを調査するため4月28日、米子鬼太郎空港で出店販売を行いました。この日はソウル便と香港便の到着・出発がある日。空港の1階ロビーに生果やイチゴを使ったスイーツを並べてPRしました。

搭乗手続き前後の利用客にスタッフが呼びかけイチゴの特徴などを説明。また、味や大きさ、値段などのアンケート調査を行い、今後に役立てることにしています。韓国に帰国する高寛錫さんは「とてもおいしく、海外でも人気がでると思う。ただ、値段が少し高い」と話していました。

